

## “がんばろう勿来！千人鍋”における国土交通省パネル展示について（結果）

### ■概要

平成 24 年 1 月 22 日、福島県いわき市の南の森スポーツパークで“復興支援事業「がんばろう勿来！千人鍋」”（勿来ひと・まち未来会議 主催）が開催されました。

○月日：平成 24 年 1 月 22 日（日）午前 11 時～午後 1 時半

○場所：いわき南の森スポーツパーク

磐城国道事務所は、「千人鍋」会場内で勿来地区の道路の課題に関する展示ブースを設け、パネルの展示やアンケートを行いました。

### ■展示内容

- ・東日本大震災直前（H23.2）に実施した、勿来地区の道路に関するアンケート調査結果の概要。
- ・東日本大震災時の国道 6 号浸水状況。東京電力第一原発事故に伴う避難時の状況。

### ■展示ブースの様子

朝早くから多くの方々が来場されました。展示パネルの前では、避難時の渋滞状況やバイパス整備などの切実な訴え、震災で生じた路面の凹凸の解消などの要望をいただきました。

当日は、朝から小雨の降る肌寒い日で、アンケート用紙への記入も苦勞する天候にも関わらず、たくさんの方々が熱心にアンケートに回答されました。



▲千人鍋開催会場



▲千人鍋作りの様子



▲展示物の説明を行う事務所職員



▲アンケートに答える様子



勿来地区

# 勿来地区の道路に関するアンケートを行いました。 “約8割の方が道路の課題を指摘！”

国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所

## 1. アンケート調査

平成23年2月に勿来地区において道路に関するアンケート調査を実施し、沿線住民の方や道路利用者の方から回答をいただきました。

### 【アンケート結果の概要】

国道6号勿来地区の沿線の住民と道路利用者・学校関係者、民営、その他関係機関（商工会議所、漁協組合、観光協会、自然環境団体等）の代表者に調査を依頼しました。（配布数111票、有効回答数70票、回収率63%）

- 道路の幅が狭く、歩道も不十分である等、**約8割が道路構造に課題あり**
- 危険を感じ、事故も多い等、**約8割が交通安全面の課題あり**
- 朝夕や休日、観光シーズンに渋滞する等、**約8割が交通渋滞の課題あり**
- 常磐道通行止め時や事故、災害時の代替路として、**約5割が代替機能不足の課題あり**

### ■道路構造

- ・勿来駅前や県境付近の道路の幅が狭すぎる。
- ・見通しが悪いので、国道に出づらい。
- ・道路の補修工事が多すぎる。

### ■交通安全面

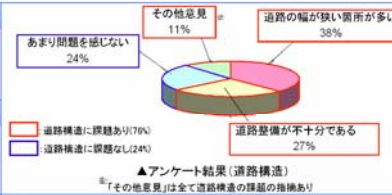
- ・車道左側の余裕幅が狭い。急な飛び出し時は危険。
- ・勿来駅への右折時に危険を感じる。
- ・道路の拡張により逆に事故が増える感がある。

### ■交通渋滞

- ・土日や海水浴シーズンは渋滞して困っている。
- ・右折待ち車両が原因となる渋滞が多い。

### ■自由回答

- ・国道6号のバイパスの南側延伸整備を望む。
- ・日常渋滞する箇所は決まっているので、その原因を調べ、対策(道路の拡張等)をしたほうがよい。
- ・御城前交差点や勿来駅前交差点で右折レーンの確保が必要。
- ・通りぬけの車と生活道路として使っている車が混在しているので危険。側道のようなものがあると良い。
- ・朝夕の幼稚園への送迎時の渋滞を解消してほしい。右折レーンの設置や4車線化の整備に期待する。
- ・北茨城市と連携した道路づくりも考慮してほしい。



### ■通行止め（災害事故等）

- ・勿来区間やその周辺の迂回路が充分でなく困る。
- ・病気等緊急な場合の通行止めは、大変迷惑だ。

今後勿来地区における道路のあり方について、引き続き検討を進めて参ります。

ご意見等がありましたら右記までお寄せください。 調査課：TEL0246-23-0963 FAX0246-25-0241

## 2. 東日本大震災時の道路状況

【津波の状況】



- 御城前交差点付近の約300mが浸水による被災を受けました。
- 今回の東日本大震災では約2日間に渡り津波警報が続き、これに伴う通行止めにより広域的な迂回が強いられました。常磐道も緊急車両のみ通行可としていたため、物流が途絶えいわき市勿来地区はまさに陸の孤島となりました。

### 【原発による渋滞の状況】3/15

③福島県内、県境付近の渋滞状況



④茨城県内、県境付近の渋滞状況



- 3/15午前中、東京電力第一原発から30km圏内に屋内退避指示が出され、茨城方面に避難する車両により国道6号が県境（福島-茨城）を挟んで大渋滞となりました。